# 呉中区の概要

呉中区は蘇州市域の地理的中心に位置し、長江デルタ経済圏の中心部にあります。北は蘇州市従来の都市部と工業園区、高新区であり、南は呉江区、東は昆山に接し、西は太湖に面しています。上海・杭州・南京のいずれも車で2時間以内でアクセスできます。総面積は陸地が745平方キロメートル、太湖水域（太湖全体の五分の三）が1486平方キロメートルあります。管轄下には国家級太湖観光リゾート区と国家級経済技術開発区、国家級農業園区、省級高新技術産業開発区及び7つの鎮と7つの街道があります。戸籍人口は73.3万人です。

呉文化の発祥地である呉中区は歴史上、兵法の名人孫武をはじめ、草書の名人張旭、彫刻の名人楊恵之、刺繍の名人沈寿から、有名な北宋時代の政治家范仲淹や北京の故宮の造営を取り仕切った建築士の大家蒯祥まで数多くの有名人物を輩出しただけあって、今は「全国文化先進区」や「全国文物先進区」、「江蘇省体育強区」、第一期「国家公共文化サービスシステム」、第一期「江蘇省公共体育サービスシステム模範区」にとどまらず、第一期「中国民間文化芸術の里」にまで認定されました。区内では国家級歴史文化名鎮が3つ、国家級歴史文化名村が5つ、中国伝統村落が12ヶ所、江蘇省歴史文化名鎮が2つ、国家級重点文物保護単位が7つ、省級文物保護単位が19ヶ所散在し、57項目の無形文化財プロジェクト（そのうち、世界級1つ、国家級3つ、省級18つ）を有しています。

「太湖の絶景」を誇る呉中区は、太湖の60％の水域と40％の湖岸線、そして、80％の峰々と島々を有しています。「国家級生態区」、「全国生態文明建設模範区」、第一期「中国生態文明研究促進会連携拠点」、「全国文明都市（区）」など、称号も多く持っています。区内には国家級観光リゾート区が1つ、国家級現代農業模範区が1つ、国家5A級風景区が1つ、国家4A級風景区が5つ、国家地質公園が1つ、国家生態湿地公園が2つ、国家森林公園が2つ、国家農業観光模範スポットが7つ、全国特色観光名鎮・名村が4つ、省級自然保護区が1つあり、一般公開の観光スポットは60ヶ所以上及びます。

近年、呉中区は「五位一体」（経済建設、政治建設、文化建設、社会建設、生態建設を一体的に推進する）総体配置と「四つの全面」（小康社会の全面的に実現、改革の全面深化、法に基づく国家統治の全面推進、全面的な厳しい党内統治）戦略配置を中心として、経済の安定成長・構造調整・国民生活の改善・弱点補強などを推進するよう全力を注ぎ、経済社会が健康で平穏な発展様相を保っています。ワイス、フォルクスワーゲン、アイシンAW、Flex、イオン、三洋、パナソニック、日立、コカ・コーラなど世界トップ500企業18社を含む40ヶ国（地域）以上の1227社の外資系企業が呉中区に進出し、外資実際利用額は累計で90憶ドルを超えています。